

ダウン症児の日常生活動作の発達評価表の作成

これまで私たちは、ダウン症児の日常生活動作の発達評価表作成ワーキンググループとして、発達評価表の作成に取り組んできました。まずは衣服の着脱について、そのあと食事についての評価表を作成することができました。動作を分解し、達成・未達成・芽生えを見える化する発達評価表とすることができました。また「準備、介助の度合いなど」にはご家族や支援者が共通の方法で働きかけることができるように記載しました。

この評価表について第31回の日本ダウン症療育研究会でも発表いたしました。広くダウン症児の療育に携わっておられる皆様方が利用しやすいように、HPに掲載していただきました。ご利用していただき、またご意見を頂戴できればありがたいです。ご意見は下記の南部までお願いします。

nambum@nambu-cl.jp

発達評価表作成ワーキンググループ

加藤 由里（新宿区立子ども総合センターあいあい）
前岡 伸吾（天理よろづ相談所病院白川分院）
柳下 雄大（社会福祉法人北区さつき会 Ikutas kids）
芳本有里子（大阪医科薬科大学 LD センター）
南部 光彦（なんぶ小児科アレルギー科）

掲載項目

1) 食事における動作

1. コップで飲む
2. ストローで飲む
3. スプーンで食べる
4. フォークで食べる
5. 箸で食べる

2) 衣服等の着脱における動作

1. 前開きの服を着る、脱ぐ
2. かぶり着を着る、脱ぐ
3. パンツ・ズボンをはく、脱ぐ
4. 靴下を脱ぐ、はく
5. 靴を脱ぐ、はく

●コップで飲む

動作	項目	準備・介助の度合いなど
1	コップを口元までもっていく	・コップの形状 (本人に合った形状のコップの使用；取っ手の有無、コップ全体に指が回るサイズかどうか) ・コップの持ち方：両手、片手（両手の動作、左右の手の使い分けの有無）
2	コップの縁を下唇にあて、上下の唇で縁をはさむ	・下唇でコップを支えているかどうか (舌の前方突出に対するアプローチ；STの利用、連携も視野に) ・舌が前方に突出していないかどうか ・吸啜反射が消失しているかどうか ・口唇、口まわりの感覚の過敏さ、鈍麻さ
3	コップや頭部を傾けながら、水分を口に中に入れ、飲み込む	・口唇（上唇）で水分を感じ取っているかどうか ・口元、あるいはコップから水分がこぼれていないかどうか ・握り、腕の振り上げの力加減 ・コップや頭部を適度な角度に傾けているかどうか ・運動時、静止時の身体のイメージ
4	コップを口元から離し、元の姿勢に戻る	・むせていないかどうか ・口の周りの汚れ具合

●ストローで飲む

動作	項目	準備、介助の度合いなど
1	ストローで吸えず、吹いてしまう、噛む	・コップを使用して飲める ・鼻をつまんでも口だけで呼吸ができる ・唇を尖らせることができる ・コップを固定しておく必要がある ・ストローを固定しておく必要がある ・紙コップでもストローでうまく飲める
2	ストローで吸えるが弱い	
3	ストローで一口ずつ吸える	
4	ストローで連続して吸える	
5	ストローで上手に飲める	

●スプーンで食べる

動作	項目	準備、介助の度合いなど
1	スプーンに手を伸ばしつかむ	幼児用スプーン（*スプーンヘッドの向きが一定に保ちやすい）がよい 柄の握り方、口への運び方を動作的に誘導する
	持ち方 ①手のひら握り（上から持ち、又は下から持ち） ②指握り ③鉛筆握り（母指、人差し指、中指の3指つまみ）	・介助者に提示されたスプーンをつかむ ・口に近づくスプーンをつかみ、口に含む（取り込む） ・介助で口に取り込んだスプーンをつかむことができる ①→②と持ち方が変化し、③ができる
2	器や食材にスプーンを持った手を伸ばす	・大人の介助でできる ・食材や器を見ながらできる（一つの器や食材） ・食材や器を見ながらできる（食べたい物や複数の器や食材）
3	食材を集める、寄せる	・食材を押しつぶす、混ぜる ・かき寄せる（集める）
4	すくって持ち上げる	・大人の介助でできる ・横、手前方向に滑らす動きができる（一定方向の動きならできる） ・下から上へ、持ち上げることができる（すくいあげが一人でできる） ・スプーンヘッド：ひと口量をすくうことができる
5	スプーンを口に運び、開口して食材を取り込む	・大人の介助でできる ・一人でできる
6	スプーンを口から抜き取る	・大人の介助でできる ・一人でできる
7	器にスプーンをもどす	・スプーンから手を離す、落とさないように子どもの手からスプーン本体を受け取る ・スプーンを口から引き抜く動き、器に戻す誘導をする ・一人で口から抜き取ったスプーンを器に戻す

●フォークで食べる

動作	項目	準備、介助の度合いなど
1	フォークに手を伸ばしつかむ	幼児用フォーク（*フォークヘッドの向きが一定に保ちやすい）がよい 柄の握り方、口への運び方を動作的に誘導する
	持ち方 ①手のひら握り（上から持ち、又は下から持ち） ②指握り ③鉛筆握り（母指、人差し指、中指の3指つまみ）	・介助者に提示されたフォークをつかむ ・口に近づくフォークをつかみ、口に含む（取り込む） ・介助で口に取り込んだフォークをつかむことができる ①→②と持ち方が変化し、③ができる
2	器や食材にフォークを持った手を伸ばす	・大人の介助でできる ・食材や器を見ながらできる（一つの器や食材） ・食材や器を見ながらできる（食べたい物や複数の器や食材）
3	食材を集める、寄せる	・食材を押しつぶす、混ぜる、切る、（巻く） ・かき寄せる（集める）
4	刺して持ち上げる	・大人の介助でできる ・刺す→持ち上げる（一定方向の動きならできる） ・下から上へ、持ち上げることができる（すくいあげが一人でできる） ・フォークヘッド：ひと口量を切る、刺す、すくい上げる
5	フォークを口に運び、開口して食材を取り込む	・大人の介助でできる ・一人でできる
6	フォークを口から抜き取る	・大人の介助でできる ・一人でできる
7	器にフォークをもどす	・落とさないように子どもの手からフォーク本体を受け取る ・フォークを口から引き抜く動き、器に戻す誘導をする ・一人で口から抜き取ったフォークを器に戻す

●箸で食べる

動作	項目	準備・介助の度合いなど
1	2本の箸を親指側3本の指で鉛筆持ちする	・スプーンやフォークの鉛筆握りが定着し、食事ができる ・食具を使わない方の手が器に添えられる、持てる ・親指と示指で○が作れる・チョキができる ・小指・薬指が屈曲し尺側の支持性が安定している
2	上側の箸（動かす箸）を鉛筆持ちする 親指の付け根と薬指で下側の箸を支える	・下の箸を支えれば、上下の箸が合う ・リング付き3点指示箸で、持つ位置を経験する ・薬指・親指で下側の箸を支える
3	箸を食材に近づける	
4	上側の箸を開閉し食材を寄せ集める、 はさむ、すくう	・ tong を使い3指持ちし、親指と示指を使ってはさむ ・ピンセット箸を使い3指持ちし、示指と薬指ではさむ ・つまみやすい形状の食材～様々な食材をはさめるようになる
5	箸と食材を口に運ぶ	
6	食材を取り込み、箸を口から抜き取る	

●前開きの服を着る

動作	項目		準備、介助の度合いなど
1	衣服の前身頃が正面になるように調整する		・ 介助者が準備する ・ 服の向きを自分で調整する
2	襟元のタグの部分を手で持ちながら、その反対側の腕を袖に通す		・ 介助者が襟元のタグの部分を持ち、アームホールを目で見えるように呈示する ・ 介助者が襟元のタグの部分を持ち、アームホールの場所を呈示する ・ 介助者が襟元のタグの部分を持つ ・ 全て自分でする
3	先に通した腕で反対側の身頃をもちながら、もう一方の腕の方へ身頃を引き寄せる		・ 介助者が、腕を通しやすいように後方から身頃を移動させる ・ 介助者が後方から身頃を背中になまし、手探りで探せるようにする ・ 背中に手をまわし、自分で身頃をもってくる
4	前身頃を引き寄せながら、もう一方の腕を袖に通す		・ 介助者が服の張りを調節すれば、腕をアームホールに通すことができる ・ 自分で服の張りを調節しながら腕をアームホールに通すことができる
5	ボタン・ファスナーを留める		
	一般的なボタン	1. ボタンをつまむ	・ 介助者が服の張りを保持すれば、ボタンをボタンホールにいれることができる ・ 自分で服の張りを保持したまま、ボタンをボタンホールにいれる ・ 首元以外のボタンをすべて留めることができる ・ 首元のボタンを含め、すべてのボタンを留めることができる
		2. もう一方の手で服を持つ	
		3. ボタンをボタンホールに入れる	
		4. 持っている手からボタンを離し、ボタンを持ち替える	
		5. ボタンを引っ張る	
		6. 首元のボタンを留める	
	スナップボタン	1. ボタンをつまむ	・ 介助者がはめ込む ・ 介助者が少し力を加えれば、はめ込むことができる ・ 自力ではめ込む
		2. 凹の部分と凸の部分を合わせる	
		3. 凹と凸をはめ込む	
	ファスナー	1. 左右の下止めをつまむ	・ 介助者が下止めを付けてからスライダーを上にあげる ・ 介助者がスライダーと下止めを固定すれば、下止めを付けることができる ・ 自力で下止めを付ける
		2. スライダーと下止めを固定しながら下止めを付ける	
		3. スライダーを上方向へあげる	

●前開きの服を脱ぐ

動作	項目		準備、介助の度合いなど
1	ボタン・ファスナーを外す		
	一般的なボタン	1. ボタンをつまむ	・ 首元以外のボタンをすべて外すことができる ・ 首元のボタンを含め、すべてのボタンを外すことができる
		2. もう一方の手で服を持つ	
		3. ボタンをボタンホールに入れる	
		4. 持っている手からボタンを離し、ボタンを持ち替える	
		5. ボタンと服を引っ張る	
		6. 首元のボタンを外す	
	スナップボタン	1. ボタンをつまむ	
		2. 凹と凸を引き離す	
	ファスナー	1. スライダーを下方向へ下げる	・ 介助者が外す ・ 自力で外すことができる
		2. 下止めをはずす	
2	左右の前身頃を持ちながら、左右の前身頃を肩から外す		
3	身体の後方で、袖から腕を抜く		・ 介助者が後方から手伝え、腕を袖から抜くことができる ・ 自力で腕を袖から抜くことができる

●かぶり着（シャツ、トレーナー）を着る

動作	項目	準備・介助の度合
1	服の向き（上下左右）を確認する	・向きを合わせられる ・印など目印があれば合わせられる ・介助者が揃える
2	腕を通す * 2、3 順不同	・一人で肩まで腕を通せる ・介助者が袖を手繰れば通すことができる ・全て介助が必要
3	頭を通す * 2、3 順不同	・一人でできる ・介助が必要
4	裾（前身頃・後身頃）を下げる	・一人でできる ・介助が必要

●かぶり着（シャツ・トレーナー）を脱ぐ

A. 腕を抜いてから服を脱ぐ

動作	項目	準備、介助の度合いなど
1	袖を持って腕を抜く	・自分の反対の手で袖を持ち、腕を抜くことができる ・声かけがあれば腕を抜くことができる ・介助者が袖を持つと、自分で引き抜くことができる ・介助者が服を持って引き抜く
2	もう一方の手、腕を抜く	・声かけがあれば腕を抜くことができる ・介助者が袖を持つと腕を引き抜くことができる
3	襟元を持って頭を抜く	・自分で襟元（両手、片手で）持って頭を抜くことができる ・介助者が襟首を持つと自分で頭を引き抜くことができる

B. 先に頭から脱ぐ

動作	項目	準備、介助の度合いなど
1	腕を抜かずに襟元から頭を抜く	・自分で襟元を（両手または片手で）持って頭を抜くことができる ・介助者が襟首を持つと頭を抜くことができる
2	袖を持って、腕を抜く	・袖口を持って服を裏返しにせずに腕を引き抜くことができる ・襟首を持ったまま服を裏返しにしながら脱ぐことができる ・介助者が袖を持つと自分で腕を引き抜くことができる ・介助者が服を持って袖を引き抜く
3	もう一方の手、腕を抜く	・袖口を持って服を裏返しにせずに腕を引き抜くことができる ・襟首を持ったまま服を裏返しにしながら脱ぐことができる ・介助者が袖を持つと自分で腕を引き抜くことができる ・介助者が服を持って袖を引き抜く

C. 腕を抜かず 服の裾側から服を裏返ししながら脱ぐ

動作	項目	準備、介助の度合いなど
1	服を裏返ししながら頭を抜く	・服の裾を持ち裏返しにしながら胸まであげることができる ・服の裾を持って脱ごうとするができず、介助者が行う
2	袖から腕を抜く	・袖口を持って腕を引き抜くことができる ・介助者が袖を持つと自分で腕を引き抜くことができる ・介助者が服を持ち腕を抜く
3	もう一方の腕を抜く	・袖口を持って腕を引き抜くことができる ・介助者が袖を持つと自分で腕を引き抜くことができる ・介助者が服を持ち腕を抜く

●パンツ・ズボンをはく

動作	項目	準備、介助の度合いなど
1	パンツ・ズボンの前が正面になるように調整する	・ 介助者が準備する ・ ズボンの向きを自分で調整する
2	両手でパンツ・ズボンのウエスト部分をつかむ	・ 介助者がパンツ・ズボンのウエスト部分を拡げ、裾口が見えやすいように示す ・ パンツ・ズボンのウエスト部分を自ら拡げられるように、介助者が手を持って一緒に行う ・ 一人でウエスト部分を拡げることができる
3	パンツ・ズボンに片足を入れ、裾口に向かって足を通して出し、もう片方も行う	・ 床座位で行う ・ 椅子座位で行う ・ 立位で行う
4	太ももまであげる	
5	両手でウエスト部分をつかみながら立ち、前身頃・後身頃をお尻の上まであげる	
6	片手でウエスト部分を拡げ、もう一方の手で上衣をズボンの中に入れる	・ 介助者が背中の上衣を入れるところだけ手伝う ・ 上衣をズボンの中に入れることも、すべて行うことができる
7	ボタンを留める	
	一般的なボタン	1. ボタンをつまむ 2. もう一方の手でボタンホール付近を持つ 3. ボタンをボタンホールに入れる 4. 布とボタンを持ち替える 5. ボタンと布を引っ張る
	スナップボタン	1. ボタンをつまむ 2. 凹の部分と凸の部分を合わせる 3. 凹と凸をはめ込む
	ホック（フック）	1. 左右のホック（フック）を持つ 2. 穴と引っ掛かりを合わせる 3. 左右にずらす
		・ 介助者が留める ・ 手を添えたり、ボタンホールを拡げれば留めることができる ・ 大きいボタンなら自分で留めることができる
8	チャックを上げる	1. 持ち手（プルタブ）をつまむ 2. 持ち手（プルタブ）を上げる

●パンツ・ズボンを脱ぐ

動作	項目	準備、介助の度合いなど
1	チャックを下げる	1. 持ち手（プルタブ）をつまむ 2. 持ち手（プルタブ）を下げる
2	ボタンを外す	
	一般的なボタン	1. ボタンをつまむ 2. もう一方の手でボタンホール付近を持つ 3. ボタンをボタンホールに入れる 4. 布とボタンを持ち替える 5. ボタンと布を外側に向かって引き離す
	スナップボタン	1. 凹凸のボタンを左右の手でつまむ 2. 凹凸を離す
	ホック（フック）	1. 左右ホック付近の布をつまむ 2. ホックをずらして外す
		・ 介助者が外す ・ 手を添えたり、ボタンホールを拡げれば外すことができる ・ 大きいボタンなら自分で外すことができる ・ ボタンや布地に関係なく、自分で外すことができる
3	両手でパンツ・ズボンのウエスト部分をつかむ	
4	両手でウエスト部分をつかみながら、前身頃・後身頃を下げる	・ 介助者が手伝えば、ズボンを下まで下げられる
5	ウエスト部分を持ちながら、裾口から片足ずつ足を抜く	・ 介助者が手伝えば、裾口から足を抜くことができる ・ 座れば自分で足を抜くことができる ・ 立ったまま裾口から足を抜くことができる

●靴下を脱ぐ

動作	項目	準備・介助の度合いなど
1	口ゴム部に指をひっかけて踵まで下げる	・ 座位（椅座位・床座位）か立位か？ ・ 介助者が口ゴム部を踵まで外すことができれば脱げる ・ 口ゴム部が緩ければ脱げる ・ スニーカーソックスであれば脱げる ・ ハイソックスでも脱げる
2	口ゴム部を踵から外す	
3	フット部からつま先を外す	

●靴下をはく

動作	項目	準備・介助の度合いなど
1	口ゴム部を両手で拡げ、靴下をつま先に通す	・ 座位（椅座位・床座位）か立位か？ ・ 介助者が表裏上下を教える必要がある。 ・ 介助者が口ゴム部を拡げ、踵まで通せば、下腿まで引き上げることができる ・ 介助者が口ゴム部を拡げ、つま先まで通せば踵まで通し、下腿まで引き上げることができる ・ 口ゴム部が緩ければはける ・ スニーカーソックスであればはける ・ ハイソックスでもはける
2	口ゴム部を両手で掴み、踵まで引き上げる	
3	口ゴム部を上方へ引き上げる	

●靴を脱ぐ

動作	項目	準備・介助の度合いなど
1	マジックテープを外す	・ 座位（椅座位・床座位）か立位か？ ・ 介助者がマジックテープを外せば脱げる ・ 左右逆になるものの、声かけすれば自分で並べる ・ 左右逆になるものの、脱いだ後に、自分で並べる ・ 声かけすれば、左右を間違えずに自分で並べる ・ 脱いだ後に、左右を間違えずに自分で並べる
2	反対側の足もしくは手で靴を固定し、踵を靴から脱ぐ	
3	靴を左右揃える	

●靴をはく

動作	項目	準備・介助の度合いなど
1	靴前部のべ口部分を持ち、つま先を靴の中に入れる	・ 座位（椅座位・床座位）か立位か？ ・ 左右の靴を間違わずにはける ・ つま先は靴に通すことができる ・ 踵部は介助が必要 ・ マジックテープは介助が必要
2	踵部を折れ曲がらないように指で拡げながら踵をいれる	
3	マジックテープを止める	